



BlueBay
Asset Management

2017年2月1日

市場の方向は未だ不透明



デビッド・ダウセット

パートナー

エマージング債チーム(コ・ヘッド、国債)

シニア・ポートフォリオ・マネジャー

エマージング資産の運用者にとっては米国での変化をよく理解することが重要となります

ドナルド・トランプ政権は、エマージング市場に関係するものを含む、電撃的な大統領令の発令でスタートしましたが、金融市場に与えた影響は限定的でした。米国債利回りはやや上昇しましたが、米ドルはわずかに下落しました。

エマージング市場においては、メキシコとの国境に壁を作るとし、予定されていたメキシコ大統領との会談がキャンセルされたことが注目を集めました。こうしたアグレッシブな行動がみられたものの、メキシコ資産は上昇がみられ、メキシコ・ペソは4%上昇しました。

トルコも引き続き注目を集めました。中央銀行は、通貨の下落への対応として75bpsの利上げを実施しました。これは市場で予想されていた下限の利上げ幅であり、金融政策の転換がまだ訪れていないとみられます。しかし、短期的には通貨の安定をもたらしました。

今週の新規発行市場は静かでした。先週新規発行のあったドミニカ共和国やアルゼンチンは発行後、冴えない動きとなっていますが、中期的には上昇がみられると考えています。

米国でのイベントに対応してリスクとポジションを考えていくことが何よりも重要です

エマージング市場での固有リスクを分析しながら投資機会を引き続き探っていきますが、米国でのイベントに対応してリスクとポジションを考えていくことが何よりも重要であると考えています。グローバリゼーションのルールとアメリカによる平和(「パクス・アメリカーナ」)は書き直されていると感じており、これが意図することを理解することはエマージング資産の運用者にとって重要となります。

1月は、2017年の方向性を判断するのに決定的な月とはなりません。しかし、トランプ氏の政治的なイニシアチブは、当選をもたらしたポピュリスト、プロテクショニスト(貿易保護主義)、ナショナリストの側面が色濃くみられた物となりました。これが金融市場に与える問題との戦いは始まったばかりです。

2月は、米連邦公開市場委員会(FOMC)からスタートします。財政拡大予想に対する米連邦準備制度理事会(FRB)の反応に注目が集まると予想していますが、市場が織り込む利上げ回数は増加すると考えています。中国、メキシコ、ロシアに対する米国の外交政策及び貿易姿勢もやがて明らかになってくるでしょう。

概して、市場はトランプ政権における「アメリカ・ファースト」が内包する意味を軽んじているのではないかと考えています。

ブルーベイ・アセット・マネジメント・インターナショナル・リミテッド
関東財務局長(金商)第1029号
加入協会: 一般社団法人 日本投資顧問業協会

本資料は受領者への情報提供のみを目的としており、特定の運用商品やサービスの提供、勧誘、推奨を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。本資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、当社がその正確性、完全性、妥当性を保証するものではありません。記載された内容は、資料作成時点(2017年2月2日)のものであり、今後予告なく変更される可能性があります。過去の実績及びシミュレーション結果は、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。なお、当社による書面による事前の許可なく、本資料およびその一部を複製・転用・ならびに配布することはご遠慮下さい。当社と金融商品取引契約の締結に至る場合には、別途「契約締結前交付書面」等をお渡しますので、当該書面等の内容を十分にお読みいただき、必要に応じて専門家にご相談の上、お客様ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

以上